

様式第4号（第13条関係）

埼玉県エコアップ認証事業所取組実施状況報告書

平成26年5月12日

埼玉県知事 様

報告者 名称 株式会社 とだか建設  
住所 さいたま市浦和区瀬ヶ崎 2-1-10  
代表者 代表取締役 戸高 康之  
電話番号 048-886-6872



埼玉県エコアップ認証制度実施要綱第13条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 事業活動の概要

ふりがな	とだかけんせつ			
事業所の名称	株式会社 とだか建設			
事業所の所在地	【瀬ヶ崎本店】 〒330-0044 さいたま市浦和区瀬ヶ崎 2-1-10 【中川本社】 〒337-0043 さいたま市見沼区中川 166-4			
事業の内容	土木建築物の施工			
事業の規模	資本金 (万円)	5,000 万円	主要製品	土木建築物
	従業員 人数 (人)	40 人	事業所の 敷地面積	836.39 m <sup>2</sup>
	( )		(延床面積)	813.24 m <sup>2</sup>
地球温暖化対策 推進者	役職 取締役総務部長	氏名 岩上 斉		
担当者	所属 総務部	氏名 岩上 斉		
連絡先	電話 048-682-0088	F A X 048-682-2288 電子メール iwakami@todakakensetu.co.jp		



2 環境方針 ※（見直しを行った場合、記載すること）

※平成 24 年 5 月 11 日に提出した更新認証申請書に記載された環境方針から見直しによる変更はありません。

3 環境負荷の現状

(1) 環境保全の取組のチェック結果

項目	廃棄物	大気・水質	化学物質	節水・水	製品開発
達成率	81%	71%	100%	80%	—
項目	建築・開発	グリーン購入	環境教育	その他	
達成率	59%	36%	61%	45%	

(取組に関する情報・説明)

<廃棄物>  
 ・再生資源を意識したごみの分別や、ミスピリの積極活用、カラー印刷の抑制などの取り組みは、従業員全員に浸透し、エコ活動が習慣化してきている。

<大気・水質>  
 ・燃料の高騰もあり、社用車の燃費向上の意識が高まり、連絡車の軽自動車化やハイブリッド車の複数購入などを実施した。

<グリーン購入>  
 ・意識して活動をしているものの、調達に係る基準を明確に作成していないので改善の必要がある。

(2) 環境への負荷のチェック結果

ア) 「地球温暖化対策計画書」の別紙 3 号より

項目		22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年	34	30	28	27
原単位(従業員数当たり)	t-CO <sub>2</sub> /人	0.8947	0.7317	0.7368	0.6750

イ) 自動車燃料（別添「自動車燃料チェックシート」より転記）

項目		22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
自動車燃料 CO <sub>2</sub> 排出量	t-CO <sub>2</sub> /年	289.5	301.7	218.4	258.0

合 計

項 目		22 年度	23 年度	24 年度	24 年度
CO <sub>2</sub> 総排出量	t-CO <sub>2</sub> /年	323.5	331.7	246.4	285.0
原単位(従業員数当たり)	t-CO <sub>2</sub> /人	8.5132	8.0902	6.4842	7.1250

(3) 二酸化炭素排出量及び原単位の実績 (基準値: 21~23 年度平均)

年度	CO <sub>2</sub> 排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	基準値比 増減量 (t-CO <sub>2</sub> )	基準値比 増減率 (%)	CO <sub>2</sub> 原単位 (従業員数当 たり) (t-CO <sub>2</sub> /人)	基準値比 増減量) (従業員数当 たり) (t-CO <sub>2</sub> /人)	基準値比 増減率 (%)
基準値	309.7			8.1440		
24 年	246.4	△63.3	△20.4	6.4842	△1.6598	△20.4
25 年	285.0	△24.7	△8.0	7.1250	△1.0190	△12.5
平均 増減率			△14.2			△16.5

(4) 二酸化炭素排出量等の増減に関する情報・説明

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関すること)

- ・ 出入りの激しい営業と工事を 2 階フロアに集約し、エアコンや照明の共有により効率化を推進し、使用電力を削減することができた。
- ・ 社用車の管理者に運行管理表の記載を習慣づけることで燃費を意識したエコドライブを啓発している。
- ・ 遠方の現場が多かったため、連絡車の全体走行距離が昨年より増加し、ガソリン使用量が増加した。
- ・

(5) その他環境に重大な影響を与える項目の実績及びその情報・説明

(別添「廃棄物等排出量実績」等に関するコメント)

**廃棄物排出量実績(平成 25 年度 2053.83 t)**

- ・ 工事の内容により汚泥と汚染土を多く処分することとなり、最終的な廃棄物処分量を増加することとなった。
- ・ 現場から発生する混合廃棄物の削減が重要であるが昨年比で約 5 割増しとなり、定期的に通達・指導していく必要がある。
- ・ 事業所から排出される一般廃棄物は、ゴミの減量化指導の効果があり過去最少の排出となった。

(6) 二酸化炭素削減対策等の取組状況

別添・「二酸化炭素削減対策等チェックシート」のとおり (追加対策に関するコメント)

追加対策は特になし。

4 環境への負荷低減の目標

※ (見直しを行った場合、記載すること)

(1) 二酸化炭素の削減目標

現行の目標を継続する。

年度	目標 排出量 (t)	基準値 (t)	増減量 (t)	増減率 (%)	目標 原単位 (t/人)	基準値 (t/人)	増減量 (t/人)	増減率 (%)
年								
年								
年								
平均 増減率								

(2) 二酸化炭素排出量等の削減目標に関する情報・説明

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関すること)

現行の目標を継続する。

(3) その他環境に重大な影響を与える項目の目標及び情報・説明

(別添「廃棄物等排出量実績」等に関するコメント)

現行の目標を継続する。

5 環境負荷低減に向けた具体的な取組結果

(1) 二酸化炭素削減の取組結果

(電気使用量、ガス使用量、自動車燃料等に関するコメント)

- ・ ガソリン使用量の増加により基準値比較では 8%の削減ではあるが、前年比較では 16%の増加となった。
- ・ 空調温度の適正化(夏季冷房 28℃、冬季暖房 20℃)に努め、外気適温時には窓を開けて調整し、省エネ活動を推進した。
- ・ 昼休み時や来客の無い時の廊下・階段の消灯や、部分照明を奨励し、不要な電力を極力使用しないよう努めた。
- ・ 燃費の悪い旧式車を軽ワゴンを主体としたエコカーに段階的に入れ替え(昨年度は 4 台購入)、使用燃料の削減に努めた。

(2) その他環境に重大な影響を与える項目の取組結果

(別添「廃棄物等排出量実績」等に関するコメント)

- ・ 会議資料のミスプリ活用や、余りがちな A3 ミスプリを A4 に切断して活用する等の活動により、前年度比で 6.3%の使用量削減ができた。
- ・ 昨年度に増加した水道使用量は 3%削減することができた。
- ・ 受注工事の内容によりアスファルト殻をはじめとする工事系産廃物は年毎に変動するが、再資源化率の低い混合廃棄物の分別削減に重点を置く必要があると考えている。
- ・ 社員の当番制で掃除とゴミ出しをすることにより、分別や削減の意識を高める活動を行っている。

## 6 取組の実施体制

### (1) 各取組の分担や責任者の配置状況 ※（見直しを行った場合、記載すること）

これまでの取組分担と責任者の配置を継続している。

### (2) 取組の従業員への周知状況

- ・ 通常は社内メールや回覧文書で周知を図り、定期的に社員全員が集合する社内行事時において、文書及び口頭で周知している。

## 7 取組の運用状況

### (1) 目標達成状況と取組実施状況の確認・点検概況

- ・ 月毎に電気、燃料、水、紙、廃棄物処分のデータ集計を総務部主体で行い、年度単位で比較検討を行っている。
- ・ 部門長(GL)が主体となり、工事現場ごとに環境目標を設定し、工事の完成後に達成度評価を実施し取組み記録として管理している。

### (2) 確認・点検結果に基づく対応概況

- ・ 総務部で集計したデータを定期社員総会で報告している。
- ・ 工事ごとの結果は半期ごとにまとめ、部門会議で報告している。

## 8 評価・見直し

### (1) 代表者等による全体の取組の評価・見直し概況

- ・ 毎年中期(9月30日)、最終(3月31日)に集計されたデータを元に環境に対する取り組み状況の適正度を評価し、新年度(4月1日)に目標設定を行うトップダウンによる環境保全活動を実施している。

### (2) 見直し結果の従業員への伝達状況

- ・ 新年度の目標を期首の社員総会で従業員全員に伝達している。

## 9 公表

### 取組実施状況報告(エコアップ認証)の公表状況

- ・ 公表場所 ①瀬ヶ崎本店(さいたま市浦和区瀬ヶ崎 2-1-10)での閲覧  
②中川本社(さいたま市見沼区中川 166-4)での閲覧
- ・ 公表日時 土日祝日を除く通常営業日の9:00~17:00
- ・ 連絡先 TEL: 048-682-0088 総務部 岩上
- ・ HP公開 インターネットHPのトップに掲載  
[URL <http://www.todakakensetu.co.jp>]

### 関係書類について

項 目	添 付 書 類
1 エコアップ認証EMS	①地球温暖化対策計画作成報告書（写） ②地球温暖化対策計画・実施状況報告（写） ③環境保全に関する取組チェックシート ④自動車燃料に関するCO <sub>2</sub> 排出量 （自動車燃料チェック） ⑤その他必要と認める書類 ・ 廃棄物等排出量実績（自己排出分） ・ 事業所一覧
2 二酸化炭素削減対策等	① 二酸化炭素削減対策等チェックシート



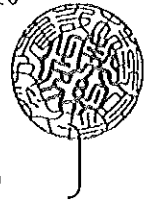
様式第1号 (第3条、第5条関係)

地球温暖化対策計画 作成 報告書 (任意)

平成26年5月12日

(あて先)  
埼玉県知事

提出者 さいたま市浦和区瀬ヶ崎2-1-10  
株式会社 とだか建設  
代表取締役社長 戸高 康之  
〔個人事業者にあつては、住所及び氏名 (自署又は記名押印)〕  
電話番号 048-886-6872



平成 26 年度の地球温暖化対策計画を 作成 したので、埼玉県地球温暖化対策推進条例 第 1 3 条 第 1 項 の規定により、別添のとおり提出します。

業 種 名		総合工事業	番 号	06
燃 料 等 使 用 量 ( 店 舗 面 積 )		前年度の燃料等使用量の原油換算の合計量		18 kL/年
		( <del>大規模小売店舗の場合は、店舗面積</del>		<del>㎡</del> )
変 更 の 場 合	変 更 年 月 日	/		
	変 更 の 理 由			
自 動 車 地 球 温 暖 化 対 策 計 画 等 と の 関 係		埼玉県地球温暖化対策推進条例第37条第1項第 号該当		
連 絡 先		所 属 部 署	別紙のとおり	
		職 ・ 氏 名		
		電 話 番 号		
※ 受 付 年 月 日		年 月 日	※ 整 理 番 号	
※ 備 考				

- 注 1 作成・変更の別及び提出の根拠となる条項については、○で囲むか、二重線で消すことにより特定すること。  
2 「業種名」及び「番号」の欄には、日本標準産業分類 (平成21年総務省告示第175号) に掲げる中分類の該当するものを記載すること。  
3 ※印の欄には、記載しないこと。

日本工業規格A列4番



地球温暖化対策実施状況報告書

平成26年5月12日

(あて先)  
埼玉県知事

提出者 さいたま市浦和区瀬ヶ崎2-1-10

株式会社 とだか建設

代表取締役社長 戸高 康之

〔 個人事業者にあつては、住所  
及び氏名 (自署又は記名押印) 〕

電話番号 048-886-6872



平成25年度の地球温暖化対策計画に基づく措置の実施の状況について、埼玉県地球温暖化対策推進条例第14条の規定により、次のとおり提出します。

業 種 名	総合工事業	番 号	06
燃料等使用量の 原油換算合計量		18	kℓ/年
温室効果ガス (CO <sub>2</sub> 換算) 総排出量		27	t-CO <sub>2</sub> /年
温室効果ガスの排 出の抑制等に関する 措置の実施状況	別紙のとおり		
自動車地球温暖化 対策実施状況 報告書との関係	埼玉県地球温暖化対策推進条例 第37条第2項に該当の有無		有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
連 絡 先	所 属 部 署 職 氏 名 電 話 番 号	別紙のとおり	
※ 受付年月日	年 月 日	※ 整理番号	
※備考			

- 注 1 「業種名」及び「番号」の欄には、日本標準産業分類 (平成21年総務省告示第175号) に掲げる中分類の該当するものを記載すること。  
2 燃料等使用量の原油換算合計量及び温室効果ガス (CO<sub>2</sub>換算) 総排出量に係る算出資料を添付すること。  
3 ※印の欄には、記載しないこと。



平成 26 年度

地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 地球温暖化対策事業者の概要

(1) 事業者の類別

類別	(類別の説明)
I類	A事業所のみを有する特定事業者
II類	B事業所を有する特定事業者（III類の事業者を除く）
III類	C事業所を有する特定事業者
IV類	任意事業者

(2) 地球温暖化対策事業者

事業者名	株式会社 とだか建設	
所在地	さいたま市浦和区瀬ヶ崎2-1-10	
事業者番号	4002	
燃料等使用量の 原油換算の合計量 (前年度)	18	k L/年
大規模小売店舗面積 (単独で1,500kL未満で延床面積 10,000m <sup>2</sup> 以上の事業所)	m <sup>2</sup>	
産業分類名 (中分類)	総合工事業	
分類番号 (中分類)	06	
事業活動の概要  (事業内容、従業員数、 資本金等)	資本金：50百万円 売上高：2,026百万円（平成25年8月決算期） 従業員数：40名	
商標又は商号 (連鎖化事業者のみ)		

(3) 県内に設置している事業所

※書ききれない場合は別添としてください。

事業所番号	事業所名	前年度の原油換算エネルギー使用量(kL)
1500 kL未満の事業所の合算 (A事業所)		
400200		18
単独で1500kL以上の事業所 (B事業所・C事業所)		
合計		18

(4) 公表方法

<input checked="" type="checkbox"/> インターネット利用による公表	アドレス	http://www.todakakensetu.co.jp	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業所での備え置き (複数可 書ききれない場合は別様としてください)	閲覧場所 1	(株)とだか建設 瀬ヶ崎本店	
	所在地 1	さいたま市浦和区瀬ヶ崎2-1-10	
	閲覧可能時間 1	9:00~16:00 (会社の休日を除く)	
	閲覧場所 2	(株)とだか建設 中川本社	
	所在地 2	さいたま市見沼区中川166-4	
	閲覧可能時間 2	9:00~16:00 (会社の休日を除く)	
<input type="checkbox"/> その他			

(5) 公表の担当部署

名称 (複数可)	連絡先		
	電話番号	FAX番号	E-mailアドレス※
1 (株)とだか建設 総務部	048-682-0088	048-682-2288	iwakami@todakakensetu.co.jp
2			
3			

※ 担当者個人のメールアドレスは記入しないこと。

(6) (IV類 (任意事業者) のみ記入) 県による公表の可否

県による報告書の公表を希望	する
---------------	----

2 地球温暖化対策推進における事業者の基本方針

当社は、環境保全は企業の社会的責任であると認識し、建設活動及び関連する業務において、環境汚染の予防や自然生態系の保護に努めるために、環境負荷の低減に取り組みます。

1. 確実な工程管理、施工管理により総合的な工程を短縮すると共に、手戻りを防ぎ無駄な資源、エネルギーを削減します。
2. 建設機械・車両等を適切に扱い、メンテナンスを行うことで無駄なエネルギー資源の消費及び排気ガスの発生を防ぐと共に、事故・故障等を防ぎ環境負荷を軽減します。

3 地球温暖化対策における事業者の推進体制

環境対策組織図

社長→環境担当役員→総務部長（環境管理責任者＝地球温暖化対策推進者）



4 計画期間中における事業者の温室効果ガス排出量（事業所合算）の推移

CO<sub>2</sub>換算（t-CO<sub>2</sub>）

	22年度 (2010年度)	23年度 (2011年度)	24年度 (2012年度)	25年度 (2013年度)	26年度 (2014年度)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	34	30	28	27	
その他ガス	0	0	0	0	
温室効果ガスの合計	34	30	28	27	

5 各事業所の計画

別紙 事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 のとおり

### 地球温暖化対策推進者詳細

現在選任している地球温暖化対策推進者の連絡先詳細を記入すること。

推進者 連絡先	推進者所属部署	総務部
	推進者職・氏名	取締役総務部長 岩上 斉
	電話番号	048-682-0088
推進者 連絡先 (複数選任して いる場合)	推進者所属部署	/
	推進者職・氏名	
	電話番号	

※事業者全体を管理する者として、複数の地球温暖化対策推進者を選任している場合は、任意に作成した様式により提出してください。

### 計画書作成担当者連絡先詳細

地球温暖化対策計画書の作成担当者の連絡先詳細を記入すること。

連絡先 詳細	担当者が所属する事業者名称	株式会社 とだか建設
	担当者所在地	さいたま市見沼区中川166-4
	担当者所属部署	環境担当役員
	担当者職・氏名	取締役副社長 富田 俊介
	電話番号	048-682-0088
	FAX 番号	048-682-2288
	E-mail アドレス	<a href="mailto:tomida@todakakensetu.co.jp">tomida@todakakensetu.co.jp</a>

### 文書等送付・連絡先詳細

事業者あて公文書の送付・連絡先担当者の連絡先詳細を記入すること。

連絡先 詳細	連絡・送付先事業者名称	株式会社 とだか建設
	所在地	さいたま市見沼区中川166-4
	担当者所属部署	環境担当役員
	担当者職・氏名	取締役副社長 富田 俊介
	電話番号	048-682-0088
	FAX 番号	048-682-2288
	E-mail アドレス	<a href="mailto:tomida@todakakensetu.co.jp">tomida@todakakensetu.co.jp</a>

※計画書作成担当者連絡先詳細の記載内容が転記されるので、必要に応じて修正。

平成 26 年度

事業者番号	4002	事業所番号	400200
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	(株)とだか建設 瀬ヶ崎本店					前年度に おける 事業所数	2	
代表事業所所在地	市区町村	さいたま市浦和区						
	字・地番	瀬ヶ崎2-1-10						
原油換算エネルギー 使用量 (kL)	年度	22年度(2010)	23年度(2011)	24年度(2012)	25年度(2013)	26年度(2014)		
	使用量	22	20	18	18			
産業分類名(中分類)	総合工事業							
分類番号(中分類)	06							
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	資本金:50百万円 売上高:2,026百万円(平成25年8月決算期) 従業員数:40名						
	延床面積	813.24					m <sup>2</sup>	
商標又は商号								

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

計 画 期 間	22 年度 ~ 26 年度	
目 標	エネルギー起源CO <sub>2</sub> (必須)	平成21年度二酸化炭素排出量34t-CO <sub>2</sub> (従業員当り原単位0.97t-CO <sub>2</sub> /人)に対し、平成26年末までに原単位で約5%削減します。
	その他ガス	

# 事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	株式会社とだか建設 瀬ヶ崎本店	さいたま市浦和区瀬ヶ崎2-1-10
2	株式会社とだか建設 中川本社	さいたま市見沼区中川166-4
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		



3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>)

			計 画 期 間					
			21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	目標			35	36	36	36	36
	実績	34	34	30	28	27		
その他ガス	非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	目標						
		実績	0	0	0	0	0	
	メ タ ン	目標						
		実績	0	0	0	0	0	
	一 酸 化 二 窒 素	目標						
		実績	0	0	0	0	0	
	ハイドロフルオロカーボン	目標						
		実績	0	0	0	0	0	
	パーフルオロカーボン	目標						
		実績	0	0	0	0	0	
	六 ふ っ 化 い お う	目標						
		実績	0	0	0	0	0	
温室効果ガスの合計		目標		35	36	36	36	36
		実績	34	34	30	28	27	

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO<sub>2</sub>)

CO<sub>2</sub>換算(t-CO<sub>2</sub>/指標)

			計 画 期 間					
			21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位		目標		0.9600	0.9500	0.9500	0.9200	0.9200
		実績	0.9714	0.8947	0.7317	0.7368	0.6750	
活動規模の指標	<input type="radio"/>	生産量 (単位) t/年						
	<input type="radio"/>	出荷額 (単位) 百万円/年						
	<input checked="" type="radio"/>	従業員数 (単位) 人	35	38	41	38	40	
	<input type="radio"/>	床面積 (単位) m <sup>2</sup>						
	<input type="radio"/>	( )						

4 燃料等使用量及び温室効果ガス排出量  
別紙1-1、1-2号

5 温室効果ガス排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況  
別紙2号

6 温室効果ガスの過年度における推移  
別紙3号

7 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価  
別紙4号

種類	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素 排出量				
	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥ ×44/12					
	数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO <sub>2</sub>				
燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL	38.2	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ			
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL	35.3	GJ/kL			0.0184	t-C/GJ			
	揮発油(ガソリン)		kL	34.6	GJ/kL			0.0183	t-C/GJ			
	ナフサ		kL	33.6	GJ/kL			0.0182	t-C/GJ			
	灯油		kL	36.7	GJ/kL			0.0185	t-C/GJ			
	軽油		kL	37.7	GJ/kL			0.0187	t-C/GJ			
	A重油		kL	39.1	GJ/kL			0.0189	t-C/GJ			
	B・C重油		kL	41.9	GJ/kL			0.0195	t-C/GJ			
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t			0.0208	t-C/GJ			
	石油コークス		t	29.9	GJ/t			0.0254	t-C/GJ			
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t	60.8	GJ/t			0.0181	t-C/GJ		
		石油系炭化水素ガス		千Nm <sup>3</sup>	44.9	GJ/千Nm <sup>3</sup>			0.0142	t-C/GJ		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	54.6	GJ/t			0.0135	t-C/GJ		
		その他可燃性天然ガス		千Nm <sup>3</sup>	43.6	GJ/千Nm <sup>3</sup>			0.0139	t-C/GJ		
	石炭	原料炭		t	29	GJ/t			0.0245	t-C/GJ		
		一般炭		t	25.7	GJ/t			0.0247	t-C/GJ		
		無煙炭		t	26.9	GJ/t			0.0255	t-C/GJ		
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t			0.0294	t-C/GJ			
	コールタール		t	37.3	GJ/t			0.0209	t-C/GJ			
	コークス炉ガス		千Nm <sup>3</sup>	21.1	GJ/千Nm <sup>3</sup>			0.0110	t-C/GJ			
高炉ガス		千Nm <sup>3</sup>	3.41	GJ/千Nm <sup>3</sup>			0.0266	t-C/GJ				
転炉ガス		千Nm <sup>3</sup>	8.41	GJ/千Nm <sup>3</sup>			0.0384	t-C/GJ				
その他燃料	都市ガス <sup>(※)</sup>	13A:45MJ/m <sup>3</sup>	千Nm <sup>3</sup>	45	GJ/千Nm <sup>3</sup>			0.0136	t-C/GJ			
		13A:43.12MJ/m <sup>3</sup>	千Nm <sup>3</sup>	43.12	GJ/千Nm <sup>3</sup>			0.0136	t-C/GJ			
		13A:46.04MJ/m <sup>3</sup>	千Nm <sup>3</sup>	46.04	GJ/千Nm <sup>3</sup>			0.0136	t-C/GJ			
		12A:41.86MJ/m <sup>3</sup>	千Nm <sup>3</sup>	41.86	GJ/千Nm <sup>3</sup>			0.0136	t-C/GJ			
		6A:29.30MJ/m <sup>3</sup>	千Nm <sup>3</sup>	29.3	GJ/千Nm <sup>3</sup>			0.0136	t-C/GJ			
小計												
熱	産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ			0.060	t-CO <sub>2</sub> /GJ			
	産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ			
	温水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ			
	冷水		GJ	1.36	GJ/GJ			0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ			
	再生可能エネルギーの環境価値を移した熱		GJ					0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ			
	小計											
電気	一般電気事業者	昼間(8時~22時)	千kWh	9.97	GJ/千kWh			0.386	t-CO <sub>2</sub> /千kWh			
		夜間(22時~翌8時)	千kWh	9.28	GJ/千kWh			0.386	t-CO <sub>2</sub> /千kWh			
	その他の買電		78	千kWh	9.76	GJ/千kWh	761	0.0258	20	0.386	t-CO <sub>2</sub> /千kWh	30
	再生可能エネルギーの環境価値を移した電		千kWh						0.386	t-CO <sub>2</sub> /千kWh		
	再生可能エネルギーを自家消費した電		千kWh						-0.193	t-CO <sub>2</sub> /千kWh		
小計					761		0.0258	20		30		
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ						t-CO <sub>2</sub> /GJ			
	自ら生成した電力の供給		千kWh						t-CO <sub>2</sub> /千kWh			
	小計											
コージェネレーションシステムの利用												
合計				761	0.0258	20		30				

種類	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素 排出量			
	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑤ ×44/12				
	数値	単位	単位	GJ	KL/GJ	kL	単位	t-CO <sub>2</sub>			
燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL	38.2	GJ/kL	0.0258	0.019	t-C/GJ			
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL	35.3	GJ/kL		0.018	t-C/GJ			
	揮発油(ガソリン)		kL	34.6	GJ/kL		0.018	t-C/GJ			
	ナフサ		kL	33.6	GJ/kL		0.018	t-C/GJ			
	灯油		kL	36.7	GJ/kL		0.019	t-C/GJ			
	軽油		kL	37.7	GJ/kL		0.019	t-C/GJ			
	A重油		kL	39.1	GJ/kL		0.019	t-C/GJ			
	B・C重油		kL	41.9	GJ/kL		0.020	t-C/GJ			
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t		0.021	t-C/GJ			
	石油コークス		t	29.9	GJ/t		0.025	t-C/GJ			
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t	50.8		GJ/t	0.016	t-C/GJ		
		石油系炭化水素ガス		千Nm <sup>3</sup>	44.9		GJ/千Nm <sup>3</sup>	0.014	t-C/GJ		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	54.6		GJ/t	0.014	t-C/GJ		
		その他可燃性天然ガス		千Nm <sup>3</sup>	43.5		GJ/千Nm <sup>3</sup>	0.014	t-C/GJ		
	石炭	原料炭		t	29		GJ/t	0.025	t-C/GJ		
		一般炭		t	25.7		GJ/t	0.025	t-C/GJ		
		無煙炭		t	26.9		GJ/t	0.026	t-C/GJ		
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t		0.029	t-C/GJ			
	コールタール		t	37.3	GJ/t		0.021	t-C/GJ			
	コークス炉ガス		千Nm <sup>3</sup>	21.1	GJ/千Nm <sup>3</sup>		0.011	t-C/GJ			
	高炉ガス		千Nm <sup>3</sup>	3.41	GJ/千Nm <sup>3</sup>		0.027	t-C/GJ			
	転炉ガス		千Nm <sup>3</sup>	8.41	GJ/千Nm <sup>3</sup>		0.038	t-C/GJ			
	その他燃料	都市ガス(※)	13A:45MJ/m <sup>3</sup>	千Nm <sup>3</sup>	45		GJ/千Nm <sup>3</sup>	0.014	t-C/GJ		
13A:43.12MJ/m <sup>3</sup>			千Nm <sup>3</sup>	43.12	GJ/千Nm <sup>3</sup>	0.014	t-C/GJ				
13A:46.04MJ/m <sup>3</sup>			千Nm <sup>3</sup>	46.04	GJ/千Nm <sup>3</sup>	0.014	t-C/GJ				
12A:41.86MJ/m <sup>3</sup>			千Nm <sup>3</sup>	41.86	GJ/千Nm <sup>3</sup>	0.014	t-C/GJ				
6A:29.30MJ/m <sup>3</sup>			千Nm <sup>3</sup>	29.3	GJ/千Nm <sup>3</sup>	0.014	t-C/GJ				
小計				GJ/		t-C/GJ					
蒸気	①		②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑤			
	産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ	0.0258	0.060	t-CO <sub>2</sub> /GJ			
	産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ		0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ			
	温水		GJ	1.36	GJ/GJ		0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ			
	冷水		GJ	1.36	GJ/GJ		0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ			
	再生可能エネルギーの環境価値を移した熱		GJ				0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ			
小計											
電気	一般電気事業者	昼間(8時~22時)	千kWh	9.97	GJ/千kWh	0.0258	0.386	t-CO <sub>2</sub> /千kWh			
		夜間(22時~翌8時)	千kWh	9.28	GJ/千kWh		0.386	t-CO <sub>2</sub> /千kWh			
	その他の買電		73	千kWh	9.76		GJ/千kWh	712	0.386	t-CO <sub>2</sub> /千kWh	28
	再生可能エネルギーの環境価値を移した電		千kWh						0.386	t-CO <sub>2</sub> /千kWh	
	再生可能エネルギーを自家消費した電		千kWh						-0.193	t-CO <sub>2</sub> /千kWh	
小計					712	18		28			
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ					t-CO <sub>2</sub> /GJ			
	自ら生成した電力の供給		千kWh					t-CO <sub>2</sub> /千kWh			
	小計										
コージェネレーションシステムの利用											
合計				712	0.0258	18		28			

エネルギー起源CO<sub>2</sub>

種類	使用量		単位当たり発熱量	熱量	原油換算	原油換算使用量	排出係数	二酸化炭素 排出量			
	①	②	③=①×②	④	⑤=①×②×④	⑥	⑦=①×②×⑥ ×44/12				
	数値	単位	単位	GJ	kL/GJ	kL	単位	t-CO <sub>2</sub>			
燃料	原油(コンデンセートを除く)		kL	38.2	GJ/kL	0.0258	0.019	t-C/GJ			
	原油のうちコンデンセート(NGL)		kL	35.3	GJ/kL		0.018	t-C/GJ			
	揮発油(ガソリン)		kL	34.6	GJ/kL		0.018	t-C/GJ			
	ナフサ		kL	33.6	GJ/kL		0.018	t-C/GJ			
	灯油		kL	36.7	GJ/kL		0.019	t-C/GJ			
	軽油		kL	37.7	GJ/kL		0.019	t-C/GJ			
	A重油		kL	39.1	GJ/kL		0.019	t-C/GJ			
	B・C重油		kL	41.9	GJ/kL		0.020	t-C/GJ			
	石油アスファルト		t	40.9	GJ/t		0.021	t-C/GJ			
	石油コークス		t	29.9	GJ/t		0.025	t-C/GJ			
	石油ガス	液化石油ガス(LPG)		t	50.8		GJ/t	0.016	t-C/GJ		
		石油系炭化水素ガス		千kWh	44.9		GJ/千kWh	0.014	t-C/GJ		
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)		t	54.6		GJ/t	0.014	t-C/GJ		
		その他可燃性天然ガス		千kWh	43.5		GJ/千kWh	0.014	t-C/GJ		
	石炭	原料炭		t	29		GJ/t	0.025	t-C/GJ		
		一般炭		t	25.7		GJ/t	0.025	t-C/GJ		
		無煙炭		t	26.9		GJ/t	0.026	t-C/GJ		
	石炭コークス		t	29.4	GJ/t		0.029	t-C/GJ			
	コールタール		t	37.3	GJ/t		0.021	t-C/GJ			
	コークス炉ガス		千kWh	21.1	GJ/千kWh		0.011	t-C/GJ			
高炉ガス		千kWh	3.41	GJ/千kWh	0.027	t-C/GJ					
転炉ガス		千kWh	8.41	GJ/千kWh	0.038	t-C/GJ					
その他燃料	都市ガス <sup>(注)</sup>	13A:45MJ/m <sup>3</sup>	千kWh	45	GJ/千kWh	0.014	t-C/GJ				
		13A:43.12MJ/m <sup>3</sup>	千kWh	43.12	GJ/千kWh	0.014	t-C/GJ				
		13A:46.04MJ/m <sup>3</sup>	千kWh	46.04	GJ/千kWh	0.014	t-C/GJ				
		12A:41.86MJ/m <sup>3</sup>	千kWh	41.86	GJ/千kWh	0.014	t-C/GJ				
		6A:29.30MJ/m <sup>3</sup>	千kWh	29.3	GJ/千kWh	0.014	t-C/GJ				
				GJ/		t-C/GJ					
				GJ/		t-C/GJ					
小計											
熱	産業用蒸気		GJ	1.02	GJ/GJ	0.0258	0.060	t-CO <sub>2</sub> /GJ			
	産業用以外の蒸気		GJ	1.36	GJ/GJ		0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ			
	温水		GJ	1.36	GJ/GJ		0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ			
	冷水		GJ	1.36	GJ/GJ		0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ			
	再生可能エネルギーの環境価値を移した		GJ				0.057	t-CO <sub>2</sub> /GJ			
	小計										
電気	一般電気事業者	昼間(8時~22時)	千kWh	9.97	GJ/千kWh	0.0258	0.386	t-CO <sub>2</sub> /千kWh			
		夜間(22時~翌8時)	千kWh	9.28	GJ/千kWh		0.386	t-CO <sub>2</sub> /千kWh			
	その他の買電		71	千kWh	9.76		GJ/千kWh	693	0.386	t-CO <sub>2</sub> /千kWh	27
	再生可能エネルギーの環境価値を移した電		千kWh					0.386	t-CO <sub>2</sub> /千kWh		
	再生可能エネルギーを自家消費した電		千kWh					-0.193	t-CO <sub>2</sub> /千kWh		
小計					693	18		27			
外部供給	自ら生成した熱の供給		GJ					t-CO <sub>2</sub> /GJ			
	自ら生成した電力の供給		千kWh					t-CO <sub>2</sub> /千kWh			
	小計										
コージェネレーションシステムの利用											
合計				693	0.0258	18		27			

事業所番号

400200

別紙2号 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

A事業所  
 ㈱とだか建設 瀬ヶ崎本店

No	対策の区分		対策内容	実施時期	備考
	区分番号	区分名称			
		大区分			
1	110100	一般管理事項	11.推進体制の整備	平成19年度より実施	
2	130100	空調制御設備・換気設備	13.空調制御の運転管理	平成19年度より実施	
3	150300	受変電設備、照明設備、電気設備	15.事務用機器等の管理	平成20年度より実施	
4	160100	昇降機、建物	16.昇降機の運転管理	平成22年度より実施	
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

別紙3号 温室効果ガスの過年度における推移

事業所番号 400200

A事業所

(1) 温室効果ガス排出量の推移

瀬とだか建設 瀬ヶ崎本店

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>)

基準年度	14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
燃料等使用量の原油換算量(kL)				19	21	25	21	22	22	20	18	18	18
エネルギー起源 CO <sub>2</sub>				29	32	37	32	34	34	30	28	27	27
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>													
メタン													
一酸化二窒素													
ハイドロフルオロカーボン													
パーフルオロカーボン													
六ふっ化いおう													
計	0	0	0	29	32	37	32	34	34	30	28	27	27

(2) 温室効果ガス排出量原単位(エネルギー起源CO<sub>2</sub>)

CO<sub>2</sub>換算 (t-CO<sub>2</sub>/指標)

基準年度	14年度 (2002)	15年度 (2003)	16年度 (2004)	17年度 (2005)	18年度 (2006)	19年度 (2007)	20年度 (2008)	21年度 (2009)	22年度 (2010)	23年度 (2011)	24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量原単位				0.8788	1.0000	1.0571	0.9697	0.9714	0.8947	0.7317	0.7368	0.6750	
生産量 (単位) t/年								0	0	0	0	0	0
出荷額 (単位) t/年								0	0	0	0	0	0
従業員数 (単位) 人				33	32	35	33	35	38	41	38	40	40
床面積 (単位) ㎡								0	0	0	0	0	0
( )								0	0	0	0	0	0

別紙4号 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

A事業所  
(株)とだか建設 瀬ヶ崎本店

自由記述欄

# 環境保全に関する取組チェックシート

## <項目①：廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理>

(チェック欄)

### 1 紙の使用量の抑制(再生紙については「グリーン購入」参照)

<input type="radio"/>	会議用資料や事務手続書類の簡素化に取り組んでいる
<input type="radio"/>	両面印刷、両面コピーを徹底している
<input type="radio"/>	使用済み用紙の裏面の利用をしている
<input checked="" type="radio"/>	使用済み封筒の再利用をしている
<input type="radio"/>	A4判化等による文書のスリム化に取り組んでいる
<input type="radio"/>	電子メディア等の利用によるペーパーレス化に取り組んでいる

### 2 廃棄物の発生そのものを抑える取組

<input type="radio"/>	使い捨て製品(紙コップ、紙皿、使い捨て容器入りの弁当等)の使用や購入を抑制している
<input checked="" type="radio"/>	リターナブル容器(ビール瓶、一升瓶等)に入った製品を優先的に購入、使用している
<input type="radio"/>	再使用又はリサイクルしやすい製品を優先的に購入、使用している
<input checked="" type="radio"/>	コピー機、パソコン、プリンタ等について、リサイクルしやすい素材を使用しているものを採用している
<input type="radio"/>	詰め替え可能な製品の利用や備品の修理などにより、製品等の長期使用を進めている
<input checked="" type="radio"/>	包装・梱包(段ボール、魚箱等)の削減、再使用に取り組んでいる
<input type="radio"/>	製造段階での工程廃棄物及び不良材等の発生抑制に取り組んでいる

### 3 オフィス等におけるリサイクルの促進

<input type="radio"/>	紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置などにより、ごみの分別を徹底している
<input type="radio"/>	回収した資源ごみがリサイクルされるよう確認している
<input type="radio"/>	シュレッダーの使用を秘密文書等に限っている
<input type="radio"/>	コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収とリサイクルを進めている
<input type="radio"/>	食べ残し、食品残渣等の有機物質については可能な限りコンポスト化(堆肥化)し、土壌に還元、利用している
<input type="radio"/>	廃食用油のせつけん等への再利用を行っている
<input type="radio"/>	包装、梱包等のリサイクルに取り組んでいる

### 4 出荷・販売等に際しての梱包等に関する配慮

<input type="radio"/>	簡易包装の推進、多重包装の見直し、量り売り、ばら売りの推進等により、包装紙、容器、買い物袋、食品トレイ、ラップ等の削減に取り組んでいる
<input type="radio"/>	環境負荷の少ない梱包材への代替に取り組んでいる
<input type="radio"/>	詰め替え式の容器・製品の販売促進に取り組んでいる
<input type="radio"/>	リターナブル容器入りの製品の販売促進に取り組んでいる
<input type="radio"/>	紙パック、食品トレイ、アルミ缶、スチール缶、ペットボトル等の店頭回収・リサイクルに取り組んでいる

### 5 生産工程における取組

<input type="radio"/>	工程から発生する金属くず、紙くず、廃液などの回収・再利用のための設備を設置し、活用している
-----------------------	---

### 6 産業廃棄物等の適正処理

<input type="radio"/>	産業廃棄物管理票(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を確認している
<input type="radio"/>	廃棄物の最終処分先を定期的に、直接、チェックしている
<input type="radio"/>	廃棄物焼却の際、焼却に適さないものが混入しないよう徹底するとともに、ばい煙の処理、近隣環境への配慮等を行っている
<input type="radio"/>	メタン発生防止のため、生ごみ等の分別・リサイクルや適正な焼却処分を極力行うことにより、有機物の埋立処分を抑制している
<input type="radio"/>	有害廃棄物、医療廃棄物の管理(リストの作成、マニフェスト、適正処理のチェック)を徹底している

チェック欄数:31

達成率 81%





# 環境保全に関する取組チェックシート

## ＜項目②：大気汚染、水質汚濁等の防止＞

(チェック欄)

### 1 大気汚染物質排出量の削減

<input type="checkbox"/>	大気汚染の少ないプロセス・機器(低NOx燃焼機器など)を採用している
<input type="checkbox"/>	日常の管理における大気汚染防止への配慮(燃焼管理等)を行っている
<input type="checkbox"/>	大気汚染について、法令による基準より厳しい自主管理基準を設定し、その達成に努めている
<input type="checkbox"/>	ばい煙等の測定・監視やばい煙処理設備の点検を定期的に行っている
<input checked="" type="checkbox"/>	事故や災害の際の汚染防止対策のための準備や訓練を行っている
<input type="checkbox"/>	アイドリングストップ等運転方法の配慮(急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐車中のエンジンの停止等)を行っている
<input type="checkbox"/>	ハイブリッド車や低燃費車、低排出ガス認定車、電気自動車、圧縮天然ガス自動車等の低公害車の利用に取り組んでいる

### 2 水質汚濁物質排出量の削減

<input type="checkbox"/>	水質汚濁の少ないプロセス・機器(廃液の回収・再利用など)を採用している
<input type="checkbox"/>	排水処理装置を適切に設置している
<input type="checkbox"/>	排水が閉鎖性水域(湖、内湾など)に流入する場合は、窒素・燐の除去対策を講じている
<input type="checkbox"/>	排水処理にクローズド・システムを採用している
<input type="checkbox"/>	排水に有害物質や有機汚濁物質(生ごみ等)が混入しないようにしている
<input type="checkbox"/>	水質汚濁等について、法令による基準より厳しい自主管理基準を設定し、その達成に努めている
<input type="checkbox"/>	排水等の測定・監視や排水処理設備の点検を定期的に行っている
<input checked="" type="checkbox"/>	事故や災害の際の汚染防止対策のための準備や訓練を行っている

### 3 悪臭、騒音、振動等の防止

<input type="checkbox"/>	悪臭防止のため排出口の位置等の配慮を行っている
<input type="checkbox"/>	低騒音型機器の使用、防音・防振設備の設置・管理等により騒音・振動を防止するとともに、日常的な測定・監視を実施している
<input type="checkbox"/>	夜間照明による光害を防止するための措置を講じている

チェック欄数:18

達成率 71%

## ＜項目③：化学物質対策＞

(チェック欄)

### 1 化学物質の管理の徹底

<input type="checkbox"/>	有害性のおそれのある化学物質について、その種類、使用量、保管量、使用方法、使用場所、保管場所等を経時的に把握し、記録管理している
<input type="checkbox"/>	有害性のおそれのある化学物質の環境への排出量の計測、推定等を行っている
<input type="checkbox"/>	有害性のおそれのある化学物質の製品への表示を徹底している
<input type="checkbox"/>	化学物質の安全性に関する情報伝達のためのMSDS(化学物質安全性データシート)を使用している
<input type="checkbox"/>	有害性のおそれのある物質のタンク、パイプ類は漏洩、拡散などを防止できる構造となっている
<input type="checkbox"/>	有害性のおそれのある物質のタンク、パイプ等の保守・点検を定期的に行っている
<input type="checkbox"/>	使用した有害物質を回収するシステムができています
<input type="checkbox"/>	有害性のおそれのある物質の輸送、保管等に当たり、事故等の汚染防止のための準備や訓練を行っている
<input type="checkbox"/>	有害性のおそれのある物質の削減に取り組んでいる
<input type="checkbox"/>	燃料油や溶剤等の揮発の防止に取り組んでいる
<input type="checkbox"/>	施設の消毒、除草や害虫駆除に当たり、薬剤使用の削減、合理化等に取り組んでいる

### 2 特定フロン削減、適正処理

<input type="checkbox"/>	オゾン層を破壊する特定フロン等の削減、全廃(生産用フロン、冷却設備・空調設備の冷媒用フロンの削減、ハロン消火設備等の代替)を行っている
<input type="checkbox"/>	特定フロンの回収・適正処理に取り組んでいる

### 3 温室効果ガス(HFC、PFC、SF6等)の排出抑制

<input type="checkbox"/>	製造工程において、HFC、PFC、SF6等をどれだけ使用し、漏出しているか把握している
<input type="checkbox"/>	製造工程において使用するHFC、PFC、SF6等の回収処理に取り組んでいる
<input type="checkbox"/>	製造工程において、可能な範囲でHFC、PFC、SF6等を他の物質に代替している
<input type="checkbox"/>	HFC、PFC、SF6等を使用しない製造工程に変換している
<input type="checkbox"/>	製品購入の際には、できるだけHFC、PFC、SF6等を使用していない製品を選ぶように配慮している
<input type="checkbox"/>	HFC、PFC、SF6等を使用している製品を廃棄する際の回収に取り組んでいる

チェック欄数:19

達成率 100%

# 環境保全に関する取組チェックシート

## <項目④：節水・水の効率利用>

(チェック欄)

×	雨水の貯留タンクや雨水利用施設の設置等により、雨水利用を行っている
○	雨水を地下浸透させる設備(浸透弁等)の導入や工夫等を行っている
—	汚排水の再利用(中水利用)を行っている
○	節水型の家電製品、水洗トイレ等を積極的に導入している
○	蛇口に節水こま(適量の水を流す機能を持つこま)を設置している
—	地盤沈下が問題となっている地域にあつては、地下水汲み上げの削減を行っている
○	水道配管からの漏洩を定期的に点検している

チェック欄数:7

達成率 80%

## <項目⑤：製品の開発・設計等における環境配慮>

(チェック欄)

### 1 製品(プライベートブランド商品を含む)設計に当たっての環境配慮

—	製品の小型化・軽量化等により、同一機能に対して資源使用量のミニマム化を指向している
—	製品の長寿命化を指向している
—	製品の使用過程でのエネルギー削減を指向している
—	再生資源の積極的利用に取り組んでいる
—	廃棄物の発生抑制のため、モデルチェンジの適正化に取り組んでいる
—	リサイクルしやすいよう、素材の種類や製品の部品点数の削減や、ネジの数を減らすことなどによる解体しやすい構造を指向している
—	製品の包装は可能な限り簡素化している
—	自社独自の環境保全型商品等の開発に積極的に取り組んでいる

### 2 製品の出荷、販売後における環境負荷の削減

—	フロン類の回収に取り組んでいる
—	フロン類の漏洩防止のための留意点など、製品に関する環境への負荷を低減するための消費者への情報提供を行っている
—	修理部品の長期的な確保に自主的に取り組んでいる
—	使用後の製品、容器包装等回収、リサイクルに取り組んでいる

### 3 製品(プライベートブランド商品を含む)に係る製品アセスメント等

—	自社製品及び社外から購入する部品等について、想定される環境負荷のチェックリストを作成している
—	新製品開発、モデルチェンジ等にあたり、環境負荷の測定・記録や製品アセスメント(製品が廃棄物になった場合の適正処理困難性の評価、製品の生産から消費、廃棄に至る各段階での環境負荷の評価(ライフサイクルアセスメント)等を含む)を実施している
—	製品の使用時や廃棄時の環境負荷の量をカタログ等に表示している
—	既存製品についても、計画的に製品アセスメント等を実施している
—	外部から製品の環境負荷に関するデータの提供の依頼があつた場合、協力している

### 4 環境保全型商品等の販売及び消費者に対する情報提供

—	再生資源を使用した商品、再生可能な商品、繰り返し使える商品、省資源・省エネルギー型の商品、容器包装を簡素化した商品、エコマーク製品等を重点的に販売している
—	上記商品の販売目標を定め、販売促進に積極的に取り組んでいる
—	販売の際に環境保全型製品の表示、製品アセスメントの結果の表示等を行っている
—	消費者等に環境保全型商品に関する情報を積極的に提供している

チェック欄数:21

達成率 100%

# 環境保全に関する取組チェックシート

## <項目⑥：建築物の建築・解体、開発事業に当たっての環境配慮>

(チェック欄)

### 1 新規事業を始める際の環境影響評価・環境配慮

<input type="checkbox"/>	新規事業を始める際、企画・計画・設計段階、建設段階、運用段階、改修・解体段階のそれぞれの段階における環境影響を評価し、これに基づいて環境保全のため適切な対策を行っている
<input type="checkbox"/>	事業実施前に行われた環境影響評価の結果が妥当であったかどうかのフォローアップを、事業中及び事業後に行っている
<input type="checkbox"/>	発注者及び設計者に対し、建設副産物のリサイクル、合板型枠の使用合理化等、環境保全の提案をしている

### 2 環境整備と周辺の自然環境の保全

<input type="checkbox"/>	敷地内、壁面、屋上等の緑化を行っている(大気浄化、都市気象の緩和にも資する)
<input type="checkbox"/>	地域の自然環境との調和に配慮し、生態系や景観の保全に取り組んでいる
<input type="checkbox"/>	環境を改変する代替措置として環境修復(ミティゲーション)を計画・設計に盛り込んでいる

### 3 環境負荷の少ない建築材の使用等

<input type="checkbox"/>	建築物の建築・改築に当たり、環境負荷の少ない建築材の使用、建築材の使用合理化に取り組んでいる(合板型枠等の木材の使用合理化、高炉セメント、再生素材の積極的使用等)
--------------------------	---

### 4 環境に配慮した工法

<input type="checkbox"/>	低騒音型の建築機械の使用等により工事騒音・振動の防止に取り組んでいる
<input type="checkbox"/>	アスベストや粉じんの飛散防止等に取り組んでいる
<input type="checkbox"/>	工事濁水による水質汚濁の防止等に取り組んでいる
<input type="checkbox"/>	出入り車輛の排ガス・騒音・振動の防止に取り組んでいる
<input type="checkbox"/>	掘削工事、盛土工事における地盤の変化の防止に取り組んでいる
<input type="checkbox"/>	工事中の樹木の保護を行っている
<input type="checkbox"/>	木材、コンクリート塊、汚泥、残土等の建設副産物の削減、再利用、分別、リサイクルに取り組んでいる
<input type="checkbox"/>	フロン、アスベストその他の有害物質の適正処理、代替材の使用等を行っている

### 5 建築物、構築物の環境への影響を予防するための方策

<input type="checkbox"/>	竣工建築の環境面に配慮した管理、メンテナンス等を行っている
<input type="checkbox"/>	建造物の老朽化や運用の診断を行い、改善や環境保全設備の見直し等の提案を行っている
<input type="checkbox"/>	建築物の耐久性の向上に取り組んでいる

### 6 施設閉鎖、建築物の解体等の際の環境配慮

<input type="checkbox"/>	施設の閉鎖時に、環境影響評価を行っている
<input type="checkbox"/>	建築物の解体に当たっては、吹きつけアスベストを事前に除去している
<input type="checkbox"/>	現状から用途転換をする等の計画プロジェクトの前に環境影響評価を行っている

チェック欄数:21

達成率 59%

## <項目⑦：グリーン購入>

(チェック欄)

### 1 再生紙の使用

<input type="checkbox"/>	コピー用紙、コンピューター用紙、伝票・事務用箋等、印刷物・パンフレット等、トイレトーパー、名刺、その他の紙について、再生紙又は未利用繊維への転換を進めている
<input type="checkbox"/>	再生パルプの使用率や白色度を考慮した再生紙利用の目標・基準を立て、使用状況を把握しながら取り組んでいる
<input type="checkbox"/>	再生パルプ使用率が印刷物等に明記されている

### 2 その他環境に配慮した物品等の購入、使用

<input type="checkbox"/>	エコマーク商品を優先的に購入している
<input type="checkbox"/>	再生材料から作られた製品を優先的に購入、使用している
<input type="checkbox"/>	間伐材、未利用資源等を利用した製品を積極的に購入、使用している
<input type="checkbox"/>	木材の調達に当たり、跡地の緑化・植林・環境修復が適切に行われていることに配慮し、又は跡地緑化等に協力している
<input type="checkbox"/>	その他、無漂白製品(衣料品等)、水性塗料等の環境への負荷の少ない製品を優先的に購入、使用している

### 3 環境に配慮した物品等の調達に係る基準等

<input type="checkbox"/>	環境に配慮した物品等の調達に係る基準、リストを作成し、現状に合わせて、見直しを行っている
<input type="checkbox"/>	基準、リストに基づく調達状況を把握している
<input type="checkbox"/>	原料・中間材の購入に当たって環境配慮のチェックを行っている

チェック欄数:11

達成率 36%

# 環境保全に関する取組チェックシート

## <項目⑧：環境教育、環境保全のための仕組みの整備>

(チェック欄)

### 1 環境保全に関する職員等への教育、意識の向上

<input type="radio"/>	職員等に環境意識の向上や、環境保全活動に必要な教育を行う計画を定めている
<input type="radio"/>	職員等に環境意識の向上や、環境保全に必要な教育を行う具体的なプログラムがある
<input type="radio"/>	職員等に環境教育を実施している
<input type="checkbox"/>	職員等に環境保全上必要な資格、能力等を保有できるように養成している
<input type="checkbox"/>	委託・協力会社などの職員等についても、必要な知識、能力等を保有するよう、対応をとっている

### 2 職員等の自主的なボランティア活動に対する支援

<input type="checkbox"/>	ボランティア休暇など、組織の制度として支援システムがある
<input type="checkbox"/>	環境に関する研究や活動を行っているサークル等に対する支援を行っている

### 3 通勤に係る環境への負荷の低減

<input type="radio"/>	通勤等に公共交通機関を利用するよう指導している
-----------------------	-------------------------

### 4 法規制等への対応

<input type="radio"/>	法規制等の最新情報を常に入手している
<input type="radio"/>	法規制等の変化に対応する手順ができています

### 5 環境対応のための組織体制整備

<input type="radio"/>	環境経営システムを実行するに当たり役割分担や責任、権限などが明確に定められている
<input type="radio"/>	環境保全活動等を実行するに当たり担当する職員、あるいは組織が明確になっている
<input type="radio"/>	環境保全活動等を所管する役員が任命されている
<input type="checkbox"/>	環境保全活動等を実行するに当たり必要な人材や情報、その他の資源が用意できる体制がある
<input type="radio"/>	職員の採用の際、環境への意識の高さ、環境に関する知識等を判断材料のひとつにしている

### 6 コミュニケーション

<input type="checkbox"/>	環境保全活動に必要な情報やその実績、評価結果などが内部で適切に伝達される仕組みが整えられている
<input type="radio"/>	外部からの意見や苦情、問い合わせなどを受け付け、対応する仕組みが整えられている

### 7 運用管理

<input type="radio"/>	環境保全活動上、必要な作業手順や運用基準等が明確に定められている
<input type="checkbox"/>	必要な場合、委託・協力会社などに対しても作業手順や運用基準が徹底されるよう、配慮している

### 8 取引先への働きかけ等

<input type="checkbox"/>	協力会社、納入会社、委託業者、子会社等について、環境保全の面から評価し、その選定に活かすとともに、改善支援を行っている
<input type="radio"/>	委託契約等に環境配慮が契約管理に組み込まれている
<input type="checkbox"/>	協力会社、子会社等に教育プログラムを提供している
<input type="radio"/>	顧客や発注者に対し、環境保全の提案をしている

チェック欄数:23

達成率 61%

# 環境保全に関する取組チェックシート

＜項目⑨：その他(情報提供、社会貢献、地域の環境保全ほか)＞

(チェック欄)

## 1 事業上の環境に関する情報の提供、公表

<input type="radio"/>	事業活動に伴う重要な環境負荷・環境に関する主要な目標、環境担当者の連絡先等を公表している
<input type="checkbox"/>	消費者等に対して、情報提供や啓発活動を行っている
<input type="radio"/>	外部からの情報の提供、公表の依頼に対する窓口を置いている

## 2 環境に関する取組等に関する外部の関係者の意見等の聴取

<input type="radio"/>	意見聴取を定期的に行い、環境に対する取組の際に考慮している
-----------------------	-------------------------------

## 3 環境保全に関する団体等への参加・支援

<input type="checkbox"/>	環境に関する基金・団体の設置、既存の基金・団体を支援している(人材派遣、資金面での援助、従業員の給与の増数を集めた寄付、広報活動への協力等)
<input type="checkbox"/>	環境関係の基金等へのマッチングギフト(従業員労働組合等の任意の寄付と同額の寄付を事業主として行うこと)を行っている
<input type="checkbox"/>	地域のボランティア活動等に積極的に参加し、協力、支援を行っている
<input type="checkbox"/>	環境に関連する表彰制度を実施している
<input type="checkbox"/>	大学に環境関係の寄付講座を開くなど、研究機関への支援を行っている

## 4 国際協力及び海外における環境配慮

<input type="radio"/>	開発環境保全技術やノウハウについて、海外への情報の提供を行っている
<input type="radio"/>	技術者の派遣、国内研修の受入等により技術移転の推進を進めている
<input type="checkbox"/>	海外における環境対策に資するNGO活動、緑化等の諸活動に積極的に協力している
<input type="checkbox"/>	進出先の従業員、周辺住民等に必要な情報を積極的に提供し、環境配慮に関する企業広報を積極的に行っている
<input type="checkbox"/>	進出先の環境配慮の取組に対する本社の支援体制を整備している
<input type="checkbox"/>	進出先国の排出基準、目標等を遵守しているとともに、その基準が日本より緩やかな場合は、日本の基準を適用している
<input type="checkbox"/>	進出に当たって、進出先の環境に与える影響の事前評価と、進出後の環境影響の事後評価によるフィードバックを行っている

## 5 投資・融資における環境配慮

<input type="checkbox"/>	投資・融資に当たり、環境面から審査を行っている
<input type="checkbox"/>	投資・融資対象事業の環境影響評価に関するノウハウをもっている
<input type="checkbox"/>	社会的責任投資(SRI)が方針として謳われている
<input type="checkbox"/>	環境審査担当のスタッフがいる
<input type="checkbox"/>	環境面からの制限業種リストを作成し、融資窓口での制限を徹底するなど、環境上問題のある事業への投融資は制限している
<input type="checkbox"/>	環境保全に関する公的融資制度の利用を推進している

チェック欄数:22

達成率 45%

# 自動車燃料に関するCO<sub>2</sub>排出量（自動車燃料チェック）

（「地球温暖化対策計画書」 別紙1-1号）

事業所名 (株)とだか建設

	燃料使用量					二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )			
	単位	H22	H23	H24	H25	H22	H23	H24	H25
ガソリン	kL	45.56	45.84	48.83	53.71	105.77	106.42	113.37	124.70
軽油	kL	71.06	75.55	40.62	51.56	183.69	195.29	105.00	133.28
液化石油ガス (LPG)	千m <sup>3</sup>								
	t								
天然ガス	千m <sup>3</sup>								
電気	千kWh								
合計						289.46	301.71	218.37	257.98

①1年間の自動車の  
燃料使用量を入

②環境への負荷のチェック結果  
の

環境管理  
責任者  
14.5.12  
岩上

# 必須項目

(株)とだか建設(本店、中川本社)

<3(5)資料 廃棄物等排出量実績(自己排出分)> 平成25年度分

自らの事業活動により排出される廃棄物等の年度排出量を把握します。  
 実績が、年度単位でない場合は、欄外に対象期間を記載してください。  
 ここでいう「廃棄物等」には、無価値である廃棄物に加え、有価物として再利用される紙くず、金属くず等を含みます。  
 なお、減量化量は、焼却、脱水、乾燥処理等による減量分を示します。

2-1 廃棄物等種別		2-2 廃棄物等 発生量(イ)	2-3減量化量 (ロ)	2-4 再資源化 量(ハ)	2-5 廃棄物等 処分量(ニ)	2-6再資源化率 (ハ/イ*100)	
事業系 一般廃棄物等	紙類	白上質紙	0.27 t	0.05 t	t	0.22 t	0.0 %
		新聞紙	0.42 t	t	0.42 t	0.00 t	100.0 %
		段ボール	0.24 t	t	0.24 t	0.00 t	100.0 %
		その他の紙	2.70 t	2.16 t	t	0.54 t	0.0 %
	厨房ごみ	t	t	t	0.00 t	— %	
	ペットボトル	t	t	t	0.00 t	— %	
	空き缶	t	t	t	0.00 t	— %	
	空き瓶	t	t	t	0.00 t	— %	
			t	t	t	0.00 t	— %
	産業廃棄物等	特別管理	アスファルト殻	483.30 t	t	483.30 t	0.00 t
コンクリート殻			486.00 t	t	486.00 t	0.00 t	100.0 %
木屑			57.00 t	45.60 t	t	11.40 t	0.0 %
混合廃棄物			68.20 t	t	t	68.20 t	0.0 %
汚泥			337.10 t	168.55 t	168.55 t	0.00 t	50.0 %
廃プラスチック			34.00 t	t	34.00 t	0.00 t	100.0 %
金属			21.00 t	t	21.00 t	0.00 t	100.0 %
混合(Asシート)			134.10 t	t	120.69 t	13.41 t	90.0 %
汚染土		429.50 t	42.95 t	386.55 t	0.00 t	90.0 %	
		t	t	t	0.00 t	— %	
	t	t	t	0.00 t	— %		
	t	t	t	0.00 t	— %		
	t	t	t	0.00 t	— %		
2-7 廃棄物等合計		2,053.83 t	259.31 t	1,700.75 t	93.77 t	82.8 %	
2-8 活動規模当たり						(単位)	
	生産量当たり	—	—	—	—	t/t	
	出荷額当たり	—	—	—	—	t/百万円	
○	従業員数当たり	51.3458	6.4829	42.5188	2.3442	t/人	
	床面積当たり	—	—	—	—	t/m <sup>2</sup>	
	( )当たり	—	—	—	—	t/( )	

	生産量	t
	出荷額	百万円
○	従業員数	40 人
	床面積	m <sup>2</sup>
	( )	( )





二酸化炭素削減対策等チェックシート (建設業)

第1項目	第2項目	基本対策				追加対策							
		子目 チェック 欄已		具体策	子目 チェック 欄已	限 入 欄	具体策		子目 チェック 欄已	限 入 欄			
		<input checked="" type="checkbox"/>	OA機器の管理	待機電力削減、不要時電源遮断	解雇、終業時にはOA機器の電源を切っている	<input checked="" type="checkbox"/>							
		<input checked="" type="checkbox"/>	自販機管理	照明不点灯 省エネ型機器の導入	利用者が少ない時間帯には自動販売機の照明を消している 省エネルギー型の自動販売機を導入している	<input checked="" type="checkbox"/>							
								事業所の個別追加対策(任意記載)			<input type="checkbox"/>		
											<input type="checkbox"/>		
											<input type="checkbox"/>		
建築物関連	<input checked="" type="checkbox"/>	昇降機の運転管理	適正管理 照明等管理	利用実態を把握し、運転階数や時間の制限など適正に管理している エレベータがご内の照明、ファンは未使用時にOFFにする	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>			制御システム	省エネシステムを導入する		<input type="checkbox"/>		
	<input checked="" type="checkbox"/>	建物の省エネルギー	日射防止	ブラインドやカーテン、断熱フィルムを取り付ける 建物の東側の窓は乗降終了時にブラインドを閉め、翌朝の日射負荷を防止する	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			侵入外気遮断 窓・外壁の断熱、気密	風除室や自動ドアを設けて、極力外気を遮断している 窓ガラスの断熱を高める仕様を取り入れている(窓熱、二重サッシ、ペアガラスなど)	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>			
								事業所の個別追加対策(任意記載)			<input type="checkbox"/>		
新エネルギー等								新エネルギー	ソーラーシステム(太陽光発電、太陽熱利用)を導入している 風力発電、中小水力発電を利用している バイオマスエネルギーを利用している	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			
								革新的なエネルギー高度利用	コージェネレーションシステムを導入している 定置用燃料電池を導入している ヒートポンプを導入している	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>			
								事業所の個別追加対策(任意記載)			<input type="checkbox"/>		
緑化・ヒートアイランド対策				埼玉県ヒートアイランド対策ガイドライン(H21年3月策定)を参照して下さい				路面温度上昇抑制 緑化	駐車場を緑化または保水・遮熱性舗装にしている 屋上・壁面を緑化している	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			
								事業所の個別追加対策(任意記載)			<input type="checkbox"/>		
自動車対策	<input checked="" type="checkbox"/>	社有車のエコドライブなど	エコドライブ	走行距離や燃料の使用状況を把握している 運転者に対して、エコドライブの教育・指導を行っている。 アイドリングストップの励行についてを周知している。 アイドリングストップに関する具体的な実施項目を定めている。	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>				エコドライブの取組や燃費結果に基づいて、取組が改善できるよう見直しを行っている エコドライブ講習会や実技講習会にすべての運転手が参加している。 運転手別に、燃費管理の結果をもとに、優れた運転手への表彰を行っている。 運行記録計、セルフティレコダーを導入している アイドリングストップ装置またはエンジン回転警報装置を導入している キー抜きロープ、などエコドライブを推進する装置を導入している	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>			
			低公害車	低公害車、最新規制適合ディーゼル車の導入に取り組んでいる NOx・PM法に基づく、規制対象車を把握して対応している 埼玉県環境保全条例に定める運行規制の対象となる車両を把握して対応している	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>				改良型エンジンや省エネ機構採用の建設機械を導入している	<input checked="" type="checkbox"/>			
			点検	排ガス・騒音のレベルを抑えるため適正な整備を行っている 定期検査等の確認を行い、不良機種の持ち込みを禁止している	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>								
								例)エコ通勤優良事業所認証等					
								事業所の個別追加対策(任意記載)			<input type="checkbox"/>		
											<input type="checkbox"/>		



二酸化炭素削減対策等チェックシート (建設業)

第1項目	第2項目	基本対策				追加対策			
	子チェック欄已		具体策	子チェック欄已	県記入欄		具体策	子チェック欄已	県記入欄
	<input type="checkbox"/>	コンプレッサの運転管理	コンプレッサ本体の定期的な保守・点検をしている 夜間や休日等の圧縮空気を使用しない時、供給元弁を閉めている 使用域の噴射圧力、噴射範囲、噴射時間を必要最小限にしている 深い込み部積集のため、フィルター、吸気口の点検・清掃をしている	<input type="checkbox"/>			流量・圧力に見合った機種へ更新している 高効率の機種へ更新している 台数制御、インバーター制御を導入している	<input type="checkbox"/>	
						事業所の個別追加対策(任意記載)		<input type="checkbox"/>	
ボイラ・工業炉	<input type="checkbox"/>	燃焼管理	良好な燃焼のためバーナーノズル・燃焼設備を点検・清掃している 燃焼機器の空気比を確認し、適正に調整している	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	運転、効率管理	熱媒体(蒸気など)の設定圧力・温度を可能な範囲まで下げている	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	
	<input type="checkbox"/>	断熱・保温及び放熱防止	ボイラー等熱利用設備の断熱を点検・修繕している	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>	
						事業所の個別追加対策(任意記載)		<input type="checkbox"/>	
								<input type="checkbox"/>	
								<input type="checkbox"/>	
廃熱利用							排ガスや蒸気ドレンの廃熱を回収利用している 空気予熱、給水予熱設備を導入している	<input type="checkbox"/>	
						事業所の個別追加対策(任意記載)		<input type="checkbox"/>	
								<input type="checkbox"/>	
								<input type="checkbox"/>	
給排水・衛生設備	<input checked="" type="checkbox"/>	給湯設備の管理	効率管理	定期的に点検し、スケールがあれば除去をしている	<input type="checkbox"/>				
	<input checked="" type="checkbox"/>	給排水設備の管理	節水対策	節水コマやフロッシュパブルで水量を調整している	<input checked="" type="checkbox"/>		手洗器・洗面器に自動水栓を設置している	<input type="checkbox"/>	
						事業所の個別追加対策(任意記載)		<input type="checkbox"/>	
								<input type="checkbox"/>	
								<input type="checkbox"/>	
照明・電気設備	<input checked="" type="checkbox"/>	照明設備の運用管理	不要時間帯 不要空間消灯 昼光利用 適正照度の管理 局部照明 照明器具清掃、器具交換 照明率向上 高効率ランプの採用	昼休みや未使用室の照明を消灯している 自然光を利用している 各部屋の照度管理をして、適正照度になっている 作業時の必要箇所だけ点灯している 灯具の清掃、古いランプの交換を行っている 室内面の内装を清掃や塗り替えなどで明るくして反射光を増やしている 高効率照明器具やランプへ交換している	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>		照明回路を部分点灯可能なように細分化している 照明点灯制御 自動点滅センサーを導入している	<input checked="" type="checkbox"/>	
	<input checked="" type="checkbox"/>	OA機器の管理	待機電力削減、不要時電源遮断	昼席、終業時にはOA機器の電源を切っている 未使用の電化製品をコンセントから抜き、待機電力を削減している	<input checked="" type="checkbox"/>				
	<input checked="" type="checkbox"/>	自販機管理	照明不点灯 時間制限 省エネルギー型の導入	利用者が少ない時間帯には自動販売機の照明を消している 夜間に停止可能な自動販売機がある場合、停止している 省エネルギー型の自動販売機を導入している	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>				
						事業所の個別追加対策(任意記載)		<input type="checkbox"/>	
								<input type="checkbox"/>	
								<input type="checkbox"/>	
建築関連	<input checked="" type="checkbox"/>	建物の省エネルギー	日射防止 建物の裏側の窓は業務終了時にブラインドを閉め、夏期の日射負荷を防止する	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>		侵入外気遮断 屋根の日射防止 窓・外壁の断熱、気密	風除室や自動ドアを設けて、極力外気を遮断している 屋根屋根などに熱反射塗料を塗っている 窓ガラスの断熱を高める仕様を取り入れている(低熱、二重サッシ、ペアガラスなど)	<input checked="" type="checkbox"/>	
						事業所の個別追加対策(任意記載)		<input type="checkbox"/>	



二酸化炭素削減対策等チェックシート (建設業)

第1項目	第2項目	基本対策			追加対策				
		具体策	チェック 欄已	県 記入 欄	具体策	チェック 欄已	県 記入 欄		
		低公害車	低公害車両の導入に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/>			キー抜きロープ、などエコドライブを推進する装置を導入している	<input type="checkbox"/>	
		点検	排ガス分析を行い、車両・整備を適正に管理している	<input checked="" type="checkbox"/>			改良型エンジンや省エネ機構採用の建設機械を導入している	<input checked="" type="checkbox"/>	
			定期検査名の確認を行い、不良機械の持ち込みを禁止している	<input checked="" type="checkbox"/>			車検・車検後の排ガス分析の自主管理基準値を設けて、これを越えた場合には再検査点検を行うなど適正整備を推進している	<input type="checkbox"/>	
		作業用機械等選定	牽力、機械、重量について作業量に適した出力のものを選定している	<input checked="" type="checkbox"/>			インバーター制御された機器を優先的に導入している	<input type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/>	ダンプトラック・重機のエコドライブ (自社所有以外の場合)		エコドライブに関する対策を協力会社に啓発・指導している	<input checked="" type="checkbox"/>					
							事業所の個別追加対策 (任意記載)	<input type="checkbox"/>	

建設現場

一般管理事項	<input checked="" type="checkbox"/>	エネルギー管理体制	組織の整備・人材教育	省エネ、温暖化対策の人材教育、普及啓発を行っている	<input checked="" type="checkbox"/>				
	<input checked="" type="checkbox"/>	エネルギー使用量管理		日報、月報などでエネルギーの使用量を把握し、分析している	<input checked="" type="checkbox"/>				
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	エネルギーの選択	環境負荷の少ないエネルギーを優先的に購入・使用している	<input checked="" type="checkbox"/>				
							事業所の個別追加対策 (任意記載)	<input type="checkbox"/>	

空調設備	<input checked="" type="checkbox"/>	運転管理	設定温度	室内温度、湿度を適正にしている (例: 夏: 28℃、冬: 20℃など)	<input checked="" type="checkbox"/>					
			運転時間の見直し	空調時間の短縮など空調時間の見直しをしている	<input type="checkbox"/>					
			区画の管理	空気の循環を妨げないように、吸込、吹出口の近くに機器や物を置かないようにしている	<input checked="" type="checkbox"/>					
			局所空調が行えるよう、日常作業エリアを集約化している	<input checked="" type="checkbox"/>						
			未使用室の空調停止	未使用室の空調機を停止している	<input checked="" type="checkbox"/>					
			清掃	空機機、ファンコイルのフィルターを清掃している	<input checked="" type="checkbox"/>					
				空冷式エアコンの室外機の熱交換部を定期的に洗浄している	<input checked="" type="checkbox"/>					
	機器の調整	部屋の風量を適正にしている	<input checked="" type="checkbox"/>							
	省エネ機器の導入等						省エネ機器、材料の利用	高効率機器へ更新している	<input checked="" type="checkbox"/>	
							熱交換機の設置	熱交換機を導入している	<input type="checkbox"/>	
							負荷平準化対策	負荷平準化対策のシステムを導入している	<input type="checkbox"/>	
							事業所の個別追加対策 (任意記載)		<input type="checkbox"/>	

給排水・衛生設備	<input checked="" type="checkbox"/>	給湯設備の管理	給湯温度	給湯温度は衛生上可能な範囲で高く設定している	<input checked="" type="checkbox"/>					
			給湯時間の見直し	季節、曜日、時間によって給湯スケジュールの管理を行っている	<input type="checkbox"/>					
	<input checked="" type="checkbox"/>	給排水設備の管理	節水対策	節水コマやフラッシュバルブで水量を調整している	<input checked="" type="checkbox"/>			手洗器・洗面器に自動水栓を設置している	<input type="checkbox"/>	
							事業所の個別追加対策 (任意記載)		<input type="checkbox"/>	

電気設備	<input checked="" type="checkbox"/>	照明設備の運用管理	不要時間等不要空間消灯	昼休みや未使用室の照明を消灯している	<input checked="" type="checkbox"/>			照明回線を部分点灯可能なように細分化している	<input checked="" type="checkbox"/>			
			昼光利用	自然光を利用している	<input checked="" type="checkbox"/>							
			適正照度の管理	各部屋の照度管理をして、適正照度になっている	<input type="checkbox"/>							
			局部照明	作業時の必要箇所だけ点灯している	<input checked="" type="checkbox"/>							
			照明器具清掃、器具交換	灯具の清掃、古いランプの交換を行っている	<input checked="" type="checkbox"/>							
			高効率ランプの採用	高効率照明器具やランプへ交換している	<input checked="" type="checkbox"/>				照明点灯制御	自動点滅センサーを導入している	<input checked="" type="checkbox"/>	
	<input checked="" type="checkbox"/>	OA機器の管理	待機電力削減、不要時電源遮断	昼夜、休業時にはOA機器の電源を切っている	<input checked="" type="checkbox"/>							
				未使用の電化製品をコンセントから抜き、待機電力を削減している	<input checked="" type="checkbox"/>							
	<input checked="" type="checkbox"/>	自動販売機管理	照明不点灯	利用者が少ない時間帯には自動販売機の照明を消している	<input checked="" type="checkbox"/>							
			省エネ型機器の導入	省エネルギー型の自動販売機を導入している	<input checked="" type="checkbox"/>							



**二酸化炭素削減対策等チェックシート (建設業)**

第1項目	第2項目		基本対策			追加対策		
	チェック済		具体策	チェック済	県記入欄	具体策	チェック済	県記入欄
	<input checked="" type="checkbox"/>	ダンプトラック等のエコドライブ (自社所有以外の場合)	エコドライブに関する対策を協力会社に啓発・指導している	<input checked="" type="checkbox"/>				
						事業所の個別追加対策 (任意記載)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
仮設	<input checked="" type="checkbox"/>	仮設照明	仮設照明に省エネ型照明器具を採用している	<input checked="" type="checkbox"/>				
	<input checked="" type="checkbox"/>	仮設発電機	高効率・省エネ型を導入している	<input checked="" type="checkbox"/>				
	<input checked="" type="checkbox"/>	仮設事務所の省エネ	昼休みの消灯などこまめな消灯を行っている	<input checked="" type="checkbox"/>		センサー・タイマーによる照明の制御を行っている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
						事業所の個別追加対策 (任意記載)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
資材	<input checked="" type="checkbox"/>	資材・物品調達	グリーン調達物品を使用している	<input checked="" type="checkbox"/>				
						事業所の個別追加対策 (任意記載)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

**二酸化炭素削減対策等チェックシート (建設業)**

第1項目	第2項目	基本対策			追加対策			
		具体策	チェック 済	県記入 済	具体策	チェック 済	県記入 済	
<b>その他</b>								
その他の取組				カーボンオフセット(事業活動で排出する二酸化炭素量を計算し、温暖化対策のための寄付を行うことで、相殺するもの)の取組を行っている			「 <input type="checkbox"/>	
				事業所の個別追加対策(任意記載)			「 <input type="checkbox"/>	
基本対策チェック数				134		追加対策の数		23
基本対策総数				148				
基本対策実施率(%)				91				